

町田大介の略歴

本名 松井幸雄 七十歳。現住所 山梨県北杜市白州白須八二九二―九

昭和十六年四月九日東京都町田市に生まれる。

地元の小、中学校を経て、都立町田高校を昭和三十五年に卒業する。

一年浪人生活を送ったが、浪人中、東京都の外郭団体臨時職員となる。

昭和三十六年四月早稲田大学第二政経学部政治学科に入学。同学部同学科を

昭和四十年三月卒業。

昭和四十年四月東京都主税局新宿都税事務所に勤務する。

昭和四十八年四月都区交流制度により大田区職員となる。

平成十四年三月大田区職員を定年退職となり、以後五年間再雇用職員として働く。

在職中から、NPO東京都日本中国友好協会の常務理事、副理事長として、都内に「中国語教室」の普及に努める。また、中国留学生のアルバイト斡旋や相談役としてあった。一方、中国の貧困地区に学校、図書館を建設する中心となって活躍。現在も副理事長の任にあって日本と中国の民間交流、なかならずく青少年のそれを活性化せんと励む。

二〇一〇年十二月山梨―東京の往復等が重なり、高速バスの中で倒れ、六カ月の入院を余儀なくされ、右手右足麻痺のリハビリの傍ら左手でパソコンを操作して小説書きに挑む。病状は多少良くなるが、障害者二級のハンデに屈することなく、東京にも出て日本中国友好のために奮闘中。現在次の作品にも取り掛かっている。

執筆歴

二〇〇七年十一月やまなし文学賞に「ラヴースコンチェルト」で応募 落選

二〇一〇年六月文芸思潮第七回銀華文学賞に「残夢」で応募 第一次選考

通過

二〇一一年六月文芸思潮第八回銀華文学賞に「楳円球賛歌」で応募

第三次選考

通過